

千葉県福祉サービス第三者評価の評価結果 (保育所等)

1 評価機関

名 称	NPO法人 ヒューマン・ネットワーク
所 在 地	船橋市丸山2丁目10番15号
評価実施期間	令和7年 7月 29日～令和8年 1月 30日

2 受審事業者情報

(1) 基本情報

名 称	船橋市立高根保育園		
(フリガナ)	フナバシシリツタカネホイクエン		
所 在 地	〒274-0814 船橋市新高根4-19-2		
交通手段	京成松戸線高根公園駅より徒歩6分		
電 話	047-463-1418	F A X	047-463-1420
ホームページ	船橋市役所ホームページ https://www.city.funabashi.lg.jp		
経 営 法 人			
開設年月日	昭和50年4月1日		
併設しているサービス			

(2) サービス内容

対象地域	船橋市内在住または船橋市に勤務している方								
定 員	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	合計		
	15名	30名	30名	30名	30名	30名	165名		
敷地面積	1,655.21㎡			保育面積		941.61㎡			
保育内容	0歳児保育		障害児保育		延長保育		夜間保育		
	休日保育		病後児保育		一時保育		子育て支援		
健康管理	身体測定(毎月)・健康診断(年2回)・歯科検診(年1回)・尿検査・蛔虫検査・視力検査								
食事	離乳食・乳児食・幼児食・アレルギー対応食								
利用時間	7時～19時								
休 日	日曜日・祝日・年末年始								
地域との交流	地域交流(園庭開放・遊びの会・育児講座)・専門職による相談								
保護者会活動	父母会あり								

(3) 職員（スタッフ）体制

職 員	常勤職員	非常勤、その他	合 計	備 考
	23名	19名	42名	常勤うち3名育休中
専門職員数	保育士(幼稚園教諭含む)	看護師	栄養士	
	24名	1名	1名	保育士うち3名育休中
	保健師	調理師	その他専門職員	
	0名	0名	16名	

(4) サービス利用のための情報

利用申込方法	利用申込書（認定申請書）と必要書類を船橋市役所保育入園課へ提出		
申請窓口開設時間	9時～17時		
申請時注意事項	<ul style="list-style-type: none"> ・不足書類があった場合、利用調整の対象にならないため、期限に余裕をもって申し込んでもらう。 ・発達に不安がある児については、基本事前に体験保育を実施する。 		
サービス決定までの時間	利用希望月の前々月末までに申込		
入所相談	保育コンシェルジュとして、窓口・電話・メールにて相談を受けている。		
利用料金	2号認定…保育料0円 3号認定…保育必要量や世帯の税額による		
食事料金	2号認定…食材材料費（副食費）として月額4500円		
苦情対応	窓口設置	高根保育園	
	第三者委員の設置	船橋市役所	

福祉サービス第三者評価総合コメント 船橋市立高根保育園

特に力を入れて取り組んでいること
<p>子どもの自己肯定感を育み、意欲を引き出す環境づくりに取り組んでいる</p> <p>園庭には芝生の築山、斜面にたくさんのタイヤが置かれ、バスマットにヨガマット、ござを準備し、伸び伸び遊べる環境を整えている。築山に上ったり、滑ったり、マット類を並べたり、ござを使ってままごと遊びが広がったりと、友達と一緒に楽しむ姿が見られている。室内には手づくり玩具や絵本、ままごとコーナーなどが整備され、やりたい遊びを見つけて遊び込めるよう工夫されている。保育者は子どもからの発見や発想を肯定的に受け止め、安心して自分を表現しようとする環境を作り、自己肯定感が育まれるようにかかわっている。5歳児クラスでは、子ども達から広がった「お祭りごっこ」で、ヨーヨーや射的などの出店を考え、絵の具やマジックを使ってわたあめやかき氷を作るなど、子どもの発想が広がり主体的に遊ぶ姿を見ることができた。3・4歳児がお客となって参加することでクラス間の交流も深まっている。園の目標である「ゆたかな環境の中で意欲的に遊ぶ子」に向け、子ども一人ひとりの姿を丁寧に見守りながら子どもが意欲的に遊べる環境づくりに取り組んでいる。</p>
<p>職員の食育を楽しむ姿勢が、子どもの食への興味や意欲を育んでいる</p> <p>保育者は園庭の畑で子どもと季節ごとの野菜を栽培し、収穫した野菜を活用したクッキングや出前調理の内容を考え、クラスごとに年間計画書を作成している。栄養士は「好きな食べ物を増やし、さまざまな食材を食べられるようになってほしい」という願いを持ち、保育者や子どもの「やりたい」という思いを実現できるよう調整をおこなっている。具体的には調理員も参加して、トウモロコシの皮むき、かぼちゃ蒸しパン作り、ドレッシング作りなどの活動を実施している。アイデアを前向きに検討する栄養士の姿勢は保育者の意欲を引き出し、相乗効果となって活気ある食育活動につながっている。食育を通して、子ども達は調理の様子を間近で見て、食材の色や匂いを感じることで、食に対する興味や意欲が育まれている。また、単に食べるだけではなく、食材を育て、調理し、友達と一緒に味わう一連の体験を積み重ねている。</p>
<p>対話を重視し、職員の主体性を尊重する取組みが、チームワークの形成につながっている</p> <p>園内研修では、職員全員で決めたテーマに基づき、研修係が中心となって進行方法を検討し、毎月話し合いの場を設けている。会議ではアイスブレイクを取り入れて話しやすい雰囲気づくりを継続しており、進行役の職員が資料準備や会議構成を担うことで、主体的な参画を促している。また、グループディスカッションでは意見を出しやすいよう、同年代の職員同士でグループを構成するなど、発言しやすい環境にも配慮している。さらに、新規採用者には、年齢が近すぎず遠すぎないチューターを配置し、相談しやすい関係性を整えることで、早期に職場に馴染めるよう支援している。前期・後期の振り返りでは、写真を活用した活動の記録に加え、課題や次の取組みを記述する形式へと改善し、職員が主体的に保育の質向上に向き合える仕組みが構築されている。こうした研修や会議で子どもの姿を共有する取組みは、保育観の共有化や課題意識の醸成につながり、協働意欲を高めている。対話を重視した運営が、職員一人ひとりの主体性を尊重しながら、安定したチームワークの形成にも寄与している。</p>
さらに取り組みが望まれるところ
<p>子どもの視点に立った保育環境の見直しが望まれる</p> <p>子ども達が「遊びたい」と思えるような環境づくりに取り組み、子どもの発達に合わせた手づくり玩具や道具、素材を準備し、コーナー遊びや壁面構成なども考えながら保育環境を整えている。玩具は種類別にケースに入れ写真を貼り、子ども達が使いやすいように整理している。3歳以上児クラスでは、玩具や道具を同じ場所に置くことで片付けやすいようにし、折り紙などの小さな作品はウォールポケットを利用して整理するように工夫している。保育室内は整理整頓に努め清潔な環境が保てるように心がけている。今後、再度子どもの視点に立った保育室内の環境の確認をお願いしたい。さらに、他のクラスと共有して使っている空き保育室の整理・整頓、材料や道具を子どもが使いやすいように片付ける工夫、壁の剥がれの補修などを行うことで、より良い保育環境になるよう望みたい。</p>

保護者との情報共有を深め、保育理解につなげていくことが望ましい

職員は保護者とのコミュニケーションを大切に、連絡アプリで毎日子どもの様子を配信している。また、保護者に会えた時にはその日の出来事やエピソードをできるだけ伝えられるよう心がけている。今回の第三者評価のアンケートでは、総合的な感想として「大変満足」「満足」を合わせて94%と高い満足度となっている。その中で少数ではあるが「保育参加がなくなってしまい保育参観になってしまったのが残念」「苦情等の窓口になっている職員を知らない」との声があった。保育参観の目的や苦情窓口の周知方法などについて検討した上で、その意図や職員の思いを丁寧に保護者に伝え、保育のねらいとのつながりをわかりやすく可視化することが望ましい。こうした積み重ねが保育理解と協力体制の強化につながると考えられる。

職員全体で働きやすい環境を整えていくことを期待したい

園では日々の保育の質向上に向けた取り組みが多く見られ、乳児会議・幼児会議・職員会議・ケース会議など、多様な話し合いの場が設けられている。各クラスが会議を行う際には予定をクラス会議日程表に記載し、フリー保育士がサポートに入るなど、園全体で協力しながら時間を確保する工夫がされている。また、手作りの準備物や修繕依頼をノートで共有し、保育サポーターが空いた時間に対応する仕組みを整えることで、作業のムダやムラを軽減する取り組みも進められている。担当業務の可視化により、業務の偏りが生じないよう互いに支え合う体制も構築されており、改善に向けた意識は高い。一方で、業務の負担感を覚える職員がいることも事実であり、効率化や時間確保にはさらなる工夫が求められる。特に、保育の振り返りや実践を深めるための時間が、日々の忙しさの中で十分に確保できない場面があるとの声もあった。今後は、職員一人ひとりの視点で、削減可能な業務や見直しが必要な作業について聴き取り、改善につなげていきたいとしている。職員全体で改善策を検討し、継続的に働きやすい環境を整えていくことを期待したい。

(評価を受けて、受審事業者の取り組み)

・職員が子どもの興味・関心に寄り添い、一人一人の育ちを大切にしながら、遊びが広がる為の援助や環境作りについて、実際に工夫しているところを園の訪問調査を通して評価してもらえたと感じた。引き続き子ども達が「遊びたい」と思えるような環境作りに取り組み、子どもの意欲や主体性を大切に保育していきたい。

・環境の見直しとしては、保育室の環境整備・整理整頓、特に空き保育室など共有スペースをみんなが使いやすいようにしたいと意見が出ていたので、園内係やフリー保育士が中心となり、整理整頓を行った。乳児が室内で体を動かして遊べるスペースが広がり、遊びの設定の工夫ができるようになった。子どもが使う教材や玩具の整理は、使った後の片付けをそれぞれが意識していくことが大切なので、職員に周知を行った。壁や床など園全体の環境については、子どもが心地よく安全に過ごせるよう課とも相談していく。

・保護者アンケートより、苦情の窓口や保護者の意見や要望を聞く機会についての周知が足りないと感じた。今後は入園時だけでなく、年度のはじめの保護者会やお便りなどで知らせていく。また、園の行事についても保育のねらいや職員の思いを丁寧に伝え、ドキュメンテーションの利用など発信方法を工夫していく。保護者の方の理解のもと保育をすすめていけるようにしていきたい。

・職員の保育の質向上に向けての取り組みやチームワークの良さについて評価してもらったが、限られた時間内での話し合いや事務作業をすることの難しさが職員のアンケートからあがっていた。まずは各クラスの事務仕事を出し合い可視化し、時間確保の協力体制が作れるようにした。引き続き職員間で業務の見直しや分担しながら仕事をすすめられるようにしていく。

福祉サービス第三者評価項目（保育所等）の評価結果

大項目	中項目	小項目	項目	標準項目			
				☑実施数	□未実施数		
I	福祉サービスの基本方針と組織運営	1 理念・基本方針	1 理念や基本方針が明文化され、職員に周知・理解されている。	4	0		
			2 理念や基本方針が利用者等に周知されている。	3	0		
		2 計画の策定	計画の適正な策定	3 事業計画が適切に策定され、計画達成のための重要課題が明確にされている。また、事業計画等、重要な課題や方針を決定するに当たっては、職員と幹部職員とが話し合う仕組みがある。	6	1	
				4 理念の実現や質の向上、職員の働き甲斐等に取り組み指導力を発揮している。	4	0	
		4 人材の確保・養成	人事管理体制の整備	5 全職員が遵守すべき法令や倫理を明示し周知している。	3	0	
				6 事業所の就業関係の改善課題について、職員（委託業者を含む）などの現場の意見を幹部職員が把握し改善している。また、福利厚生に積極的に取り組んでいる。	7	0	
				7 人事方針を策定し、人事を計画的・組織的にを行い、職員評価が客観的な基準に基づいて行われている。	5	0	
			職員の質の向上への体制整備	8 必要な福祉人材の確保・定着等に関する具体的な計画が確立し、取組が実施されている。	4	0	
				9 職員の教育・研修に関する基本方針が明示され、研修計画を立て人材育成に取り組んでいる。	4	1	
				10 全職員を対象とした権利擁護に関する研修を行い、こどもの権利を守り、個人の意思を尊重している。	3	0	
11 個人情報保護に関する規定を公表し徹底を図っている。	4			0			
II	適切な福祉サービスの実施	1 利用者本位の保育	12 利用者満足度の向上を意図した仕組みを整備し、取り組んでいる。	4	0		
			13 苦情又は意見を受け付ける仕組みがある。	4	0		
			14 教育及び保育の質の向上への取り組み	3	0		
		2 教育及び保育の質の確保	提供する保育の標準化	15 提供する教育及び保育の標準的実施方法のマニュアル等を作成し、また日常の改善を踏まえてマニュアルの見直しを行っている。	4	0	
				16 保育所等利用に関する問合せや見学に対応している。	2	0	
		3 教育及び保育の開始・継続	教育及び保育の適切な開始	17 教育及び保育の開始に当たり、教育及び保育方針や内容を利用者に説明し、同意を得ている。	4	0	
				18 保育所等の理念や教育及び保育方針・目標に基づき全体的な計画が適切に編成されている。	4	0	
		4 子どもの発達支援	教育及び保育の計画及び評価	19 全体的な計画に基づき具体的な指導計画が適切に設定され、実践を振り返り改善に努めている。	5	0	
				20 項目別実施サービスの質	20 子どもが主体的に活動できる環境が整備されている。	6	0
				21 乳児保育(0歳児)において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	5	0	
22 1・2歳児の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	5			0			
23 3歳以上児の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	5			0			
24 身近な自然や地域社会と関わられるような取組みがなされている。	4			0			
25 遊びや生活を通して人間関係が育つよう配慮している。	6			0			
26 特別な配慮を必要とするこどもの教育及び保育が適切に行われている。	6			0			
27 保育時間の長いこどもに対して配慮がなされている。	4			0			
28 家庭との連携が十分図られている。	3			0			
29 地域社会との連携が十分図られている。	3			0			
30 家庭での虐待等権利侵害の疑いのあるこどもの早期発見・早期対応に努めている。	3			0			
31 子どもの健康支援	31 こどもの健康状態、発育、発達状態を適切に把握し、健康増進に努めている。			3	0		
32 感染症、疾病等の対応は適切に行われている。	4			0			
5 安全管理	環境と衛生	34 環境及び衛生管理は適切に行われている。	3	0			
		35 事故発生時及び事故防止対策は適切に行われている。	4	0			
		36 地震・津波・火災等非常災害発生時の対策は適切に行われている。	6	0			
6 地域	地域子育て支援	37 地域ニーズを把握し、地域における子育て支援をしている。	5	0			
		計	157	2			

項目別評価コメント

(利用者はこども・保護者と読み替えて下さい)

標準項目 整備や実行が記録等で確認できる。 確認できない。

評価項目	標準項目
1 理念や基本方針が明文化され、職員に周知・理解されている。	<input checked="" type="checkbox"/> 理念・基本方針が法人・保育所等の内部文書や広告媒体(パンフレット、ホームページ等)に記載されている。
	<input checked="" type="checkbox"/> 理念・方針を事業所内の誰もが見やすい箇所に掲示し、職員配布文書に記載している。
	<input checked="" type="checkbox"/> 理念・方針を会議や研修において定期的に取り上げ職員と話し合い共有化を図っている。
	<input checked="" type="checkbox"/> 理念・方針の実践を日常の会議等で話し合い実行面の反省をしている。
(評価コメント) 市の保育理念・方針・目標に基づいて、園目標は「ゆたかな環境の中で自ら意欲的にあそぶ子」と設定し、園のしおりやパンフレットに記載して、園目標を事務所に掲示している。船橋市公立保育園として共通の保育理念があり、園では独自の保育方針や園目標を示し、職員全体で共有している。3月末の新年度会議では、理念・方針・園目標を全員で確認し、資料を配布して理解を深めている。実践面では、全体的な計画から年間指導計画、月案、週案、日誌へと連動させ、乳児会議・幼児会議で前期・後期の反省を行い、次年度への課題を整理している。	
2 理念や基本方針が利用者等に周知されている。	<input checked="" type="checkbox"/> 契約時等に理念・方針が理解しやすい資料を作成し、分かりやすい説明をしている。
	<input checked="" type="checkbox"/> 理念・方針を保護者に実践面について説明し、話し合いをしている。
	<input checked="" type="checkbox"/> 理念・方針の実践面を広報誌や手紙、日常会話などで日常的に伝えている。
(評価コメント) 保育理念や保育目標、園の方針はパンフレットや保育園のしおりに明示され、入園時に保護者へ丁寧に説明している。実践面では、4月の保護者会に向けたお便りにクラス目標や大切にしていきたいことを記載し、子どもの姿や育ちをもとに分かりやすく伝える工夫がされている。また、保護者会では担任と保護者が話し合う機会を設け、保育への理解を深める場となっている。園だよりや連絡アプリでの配信、クラスだよりの発行により、参加できなかった保護者にも確実に情報が届くよう配慮しており、理念や方針の周知が継続的に図られている。	
3 事業計画が適切に策定され、計画達成のための重要課題が明確にされている。また、事業計画等、重要な課題や方針を決定するに当たっては、職員と幹部職員とが話し合う仕組みがある。	<input type="checkbox"/> 中・長期事業計画を踏まえて策定された事業計画が作成されている。
	<input checked="" type="checkbox"/> 事業計画が具体的に設定され実施状況の評価が行える配慮がなされている。
	<input checked="" type="checkbox"/> 事業環境の分析及び現状の反省を踏まえ、理念・基本方針の具現化を図るための重要課題が明確にされている。
	<input checked="" type="checkbox"/> 運営の透明性の確保に取り組んでいる。
	<input checked="" type="checkbox"/> 各計画の策定に当たっては、現場の状況を把握し、職員等の参画や意見の集約・反映のもとに策定されている。
	<input checked="" type="checkbox"/> 方針や計画、課題は会議や研修会等にて定期的に説明し、全職員に周知されている。
(評価コメント) 全体的な計画を基に、クラス担任が年間・月間指導計画および週日誌を作成し、実践・評価・改善のサイクルで運営している。提出された計画は園長・主任が内容を確認し承認しており、質の担保が図られている。毎月の会議では保育反省やクラス課題を共有し、全体に関わる事項は職員間で意見交換をおこなうなど、組織としての課題認識も深めている。また、園内研修では前年度の振り返りを踏まえ、「子どもが夢中になれる環境づくり」を重要課題とし、事例検討や話し合いを月1回程度実施している。乳児会議でも、生活援助や育児の仕方に関する疑問をテーマとして取り上げ、子どもの姿を踏まえて検討するなど、課題を明確にしなが改善に取り組む体制が整っている。	
4 理念の実現や質の向上、職員の働き甲斐等に取り組み指導力を発揮している。	<input checked="" type="checkbox"/> 理念・方針の実践面の確認等を行い、課題を把握し、改善のための具体的な方針を明示して指導力を発揮している。
	<input checked="" type="checkbox"/> 職員の意見を尊重し、自主的な創意・工夫が生まれやすい職場づくりをしている。
	<input checked="" type="checkbox"/> 定期的な研修等により知識・技術の向上を図り、職員の意欲や自信を育てている。
	<input checked="" type="checkbox"/> 職場の人間関係が良好か把握し、必要に応じて助言・教育を行っている。
(評価コメント) 職員が主体的に園の活動に関われるよう、研修係・安全係・保健係・園庭環境係・園内環境係・食育係・園文庫係などの役割を設け、全員がいずれかの係に参加している。特に研修係は、園の課題から研修テーマを設定し、子どもの姿の記録や振り返りを通して学びを深める仕組みを整えている。また、会議運営においてもリーダーが議題を検討し、少人数のディスカッションを多く取り入れることで、意見が出しやすい環境をつくる工夫がされている。これらの取り組みにより、職員一人ひとりが園の活動に参画し、自ら学び実践につなげる姿勢が育まれている。	
5 全職員が遵守すべき法令や倫理を明示し周知している。	<input checked="" type="checkbox"/> 遵守すべき法令や倫理を文書化し、職員に配布されている。
	<input checked="" type="checkbox"/> 全職員を対象とした、法令遵守と倫理に関する研修を定期的実施し、周知を図っている。
	<input checked="" type="checkbox"/> プライバシー保護の考え方について、職員に周知を図っている。
(評価コメント) 遵守すべき法令・倫理は「市の職員倫理規定」「市の職員服務規程」「全国保育士倫理規定」「市の保育所の法令遵守に関する規定」「市保育所ガイドライン」等がある。年度初めには、全職員が「服務・情報チェックシート」を用いて法令遵守や情報管理に関する事項を読み合わせ、理解を統一する取り組みがおこなわれている。全員が参加し終えるまで確実に実施しており、遵守意識の定着に寄与している。また、船橋市が実施する研修やeラーニングを計画的に受講し、職員一人ひとりが法令遵守や倫理に関する知識を深められるよう工夫されている。	

6	事業所の就業関係の改善課題について、職員(委託業者を含む)などの現場の意見を幹部職員が把握し改善している。また、福利厚生に積極的に取り組んでいる。	<input checked="" type="checkbox"/> ICT化の促進や保育補助者の活用等により、業務効率化を図っている。 <input checked="" type="checkbox"/> 記録業務、行事、会議等の簡素化などにより、業務改善を図っている。 <input checked="" type="checkbox"/> 担当者や担当部署等を設置し職員の有給休暇の消化率や時間外労働のデータを、定期的にチェックしている。 <input checked="" type="checkbox"/> 把握した問題点に対して、人材や人員体制に関する具体的な改善計画を立て実行している。 <input checked="" type="checkbox"/> 職員が相談しやすいような組織内の工夫をしている。 <input checked="" type="checkbox"/> 職員の希望の聴取等をもとに、総合的な福利厚生事業を実施している。 <input checked="" type="checkbox"/> 育児休暇やリフレッシュ休暇等の取得、ワーク・ライフ・バランスに配慮した取り組みを行っている。
(評価コメント) 業務の効率化や簡素化については、公立保育園全体で施設長会議や課内の協議を通して改善に取り組んでいる。園内では勤怠管理システムによる時間外勤務の把握をおこない、業務負担の偏りを防ぐために保育応援の体制表を作成するなど、日々の工夫が進められている。年3回の面談を通じて職員の希望や状況を把握し、必要に応じて市の保育運営課へ相談できる体制が整えられている。有給休暇について、取得が少ない職員には声かけをおこなうなど配慮がされている。また、子育て中の職員には家庭状況を踏まえて職員同士で協力し休暇が取得できるよう配慮している。共済組合の保養所など福利厚生制度も活用できる環境が整っている。		
7	人事方針を策定し、人事を計画的・組織的に行い、職員評価が客観的な基準に基づいて行われている。	<input checked="" type="checkbox"/> 人材確保・定着・育成の方針と計画を立て実行している。 <input checked="" type="checkbox"/> 職務の権限規定等を作成し、職員の役割と権限を明確にしている。 <input checked="" type="checkbox"/> 評価基準や評価方法を職員に明示し、評価の客観性や透明性の確保が図られている。 <input checked="" type="checkbox"/> 評価の結果について、職員に対して説明責任を果たしている。 <input checked="" type="checkbox"/> 評価が公平に出来るように工夫をしている。
(評価コメント) 職員の評価は、人事評価記録書に基づき業績評価・能力評価が実施されている。個人目標を設定したうえで、期首は6～7月、中間は10～11月、期末は2月に園長と面談をおこない、中間では進捗確認と助言、期末には評価結果のフィードバックが丁寧におこなわれている。また、評価の公平性を確保するため、評価者研修を実施しており、園長は受講する仕組みとなっている。面談では、目標の具体性、達成度、工夫の有無などを基準に客観的な評価がおこなわれ、職員の成長支援と組織全体の質向上につなげている。		
8	必要な福祉人材の確保・定着等に関する具体的な計画が確立し、取組が実施されている。	<input checked="" type="checkbox"/> 必要な福祉人材や人員体制に関する基本的な考え方や、福祉人材の確保と育成に関する方針が確立している。 <input checked="" type="checkbox"/> 福祉サービスの提供に関わる専門職(有資格の職員)の配置等、必要な福祉人材や人員体制について、具体的な計画がある。 <input checked="" type="checkbox"/> 計画にもとづいた人材の確保や育成が実施されている。 <input checked="" type="checkbox"/> 法人(福祉施設・事業所)として、効果的な福祉人材確保(採用活動等)を実施している。
(評価コメント) 人材確保に向けて、従来1回であった採用試験を前期・後期の2回に分け、さらに実技試験や集団討論を廃止することで受験者層の拡大を図っている。採用活動では、養成校を含む説明会を年数回開催し、2～3年目職員が自身の経験を語る機会を設けるなど、保育の魅力を具体的に伝える工夫がされている。採用後は就業継続研修等の機会を確保し、定着支援にも取り組んでいる。また、実習生については市内在住者に限らず市外からも受け入れ、船橋市の保育を学ぶ場として門戸を広げている。1年目職員にはチューターを配置し、日常の悩みや困りごとの相談に応じる体制を整えており、新人が安心して働ける環境づくりが進められている。		
9	職員の教育・研修に関する基本方針が明示され、研修計画を立て人材育成に取り組んでいる。	<input type="checkbox"/> 中長期の人材育成計画がある。 <input checked="" type="checkbox"/> 職種別、役割別に能力基準を明示している。 <input checked="" type="checkbox"/> 研修計画を立て実施し、必要に応じて見直している。 <input checked="" type="checkbox"/> 個別育成計画・目標を明確にしている。 <input checked="" type="checkbox"/> OJTの仕組みを明確にしている。
(評価コメント) 市では、新規採用研修・3年目研修・昇格時研修に加え、公立保育園全体として5年目研修、育休明け研修、中堅研修が体系的に整備されており、園でもこれらを活用しながら計画的な人材育成を進めている。全職員には共通・職種別の自己評価表が用意され、求められる姿を基準に期ごとの振り返りをおこなう仕組みが確立している。新規採用職員には育成シートに基づき、同じクラスのチューターが1年間OJTを実施し、日常の支援と成長の確認がおこなわれている。外部研修では幼保小架け橋期の教育や発達障害支援など幅広い内容を受講し、会議で共有することで学びを全体に広げている。園内研修では「子どもが夢になれる環境づくり」をテーマに、シートを用いた気づきの言語化や参考図書を活用を進め、実践に根ざした学びを深めている。		
10	全職員を対象とした権利擁護に関する研修を行い、子どもの権利を守り、個人の意思を尊重している。	<input checked="" type="checkbox"/> こどもの尊重や基本的人権への配慮について定期的に勉強会・研修を実施している。 <input checked="" type="checkbox"/> 日常の援助では、個人の意思を尊重している。 <input checked="" type="checkbox"/> 職員の言動、放任、虐待、無視などが行われることの無いように、職員が相互に振り返り組織的に対策を立て対応している。
(評価コメント) 「子どもの権利」や「不適切保育」に関する研修は市の保育運営課で実施され、園でも継続的に学び合う場が設けられている。全国保育士会の人権擁護セルフチェックリストを活用し、個人での確認に加えて事例をもとにグループディスカッションをおこなうなど、多角的に振り返る研修方法が工夫されている。園内では意見を出しやすい関係づくりを重視し、会議時のアイスブレイクや話しやすいメンバー構成によって、職員同士が安心して意見交換できる雰囲気づくりが行われている。不適切な関わりについても、チェックリストをもとに共通理解を深め、日頃から振り返りができる体制を整えている。こうした取組により、子どもの権利尊重に関する意識が高まり、風通しの良い職場づくりにつながっている。		
11	個人情報保護に関する規定を公表し徹底を図っている。	<input checked="" type="checkbox"/> 個人情報の保護に関する方針をホームページ、パンフレットに掲載し、また事業所等内に掲示し実行している。 <input checked="" type="checkbox"/> 個人情報の利用目的を明示している。 <input checked="" type="checkbox"/> 利用者等の求めに応じて、サービス提供記録を開示することを明示している。 <input checked="" type="checkbox"/> 職員(実習生、ボランティア含む)に対し、個人情報保護について研修等により周知徹底している。
(評価コメント) 個人情報の取り扱いについては、保育園のしおりに壁新聞・写真の掲載基準等を明記し、入園時に園長が説明したうえで、保護者から同意書を取得している。書類の受け渡しは書類受付簿への記録と園長の確認を徹底し、情報管理の確実性が担保されている。また、市の相談員や関係機関へ個人情報を提供する際は、事前に保護者へ説明し同意を得るなど、適切な手続きを踏んでいる。個人情報保護の方針は危機管理計画や運営規定にも明記され、実習生にもオリエンテーションで周知している。さらに、全職員がeラーニングの「個人情報保護研修」を受講することで、情報管理に関する理解の定着を図っており、組織として適切な対応が実践されている。		

12	利用者満足度の向上を意図した仕組みを整備し、取り組んでいる。	<input checked="" type="checkbox"/> 利用者満足度を把握し改善する仕組みがある。 <input checked="" type="checkbox"/> 把握した問題点の改善策を立て迅速に実行している。 <input checked="" type="checkbox"/> 利用者・家族が要望・苦情を言いやすい体制を整備している。 <input checked="" type="checkbox"/> 利用者等又はその家族との相談の場所及び相談対応日の記録がある。
(評価コメント) 保護者との日常的なコミュニケーションを大切に、送迎時に声をかけやすい雰囲気づくりを心掛けている。運動会などの行事後にはアンケートを実施し、寄せられた要望をもとに改善可能な点を検討し、次年度の運営に反映している。要望や相談内容は適宜職員間で共有し、必要に応じて面談日を設定して丁寧に対応し、児童票等に記録を残している。専用の相談室はないため、ホールや空いている保育室を活用し、落ち着いた話ができる環境を整えている。また、父母会からの駐輪場増設の要望に対し、課と連携して拡張を実施したほか、暑さ対策を踏まえて運動会の日程調整をおこなうなど、保護者の声を具体的な改善につなげている。		
13	苦情又は意見を受け付ける仕組みがある。	<input checked="" type="checkbox"/> 保護者に交付する文書に、相談、苦情等対応窓口及び担当者が明記され説明し周知徹底を図っている。 <input checked="" type="checkbox"/> 相談、苦情等対応に関するマニュアル等がある。 <input checked="" type="checkbox"/> 相談、苦情等対応に関する記録があり、問題点の改善を組織的に実行している。 <input checked="" type="checkbox"/> 保護者に対して苦情解決内容を説明し納得を得ている。
(評価コメント) 廊下の掲示板に相談・苦情対応窓口および担当者名を明記したポスターを掲示し、保護者が確認しやすい環境を整えている。保育園のしおりにも同内容を掲載し、入園時には園長が説明を行うことで、苦情受付の仕組みを事前に周知している。苦情を受けた際には、内容に応じて保育園運営課へ相談できる体制が整備されており、船橋市の「福祉サービスに対する苦情解決に関する要綱」に基づき適切な対応がおこなわれる仕組みとなっている。一方で、苦情受付の認知が十分でない保護者もいるため、保護者会などの機会を活用し、改めて窓口の案内を行うことで、より利用しやすい環境につながることを期待される。		
14	教育及び保育内容について、自己評価を行い課題発見し改善に努め、教育及び保育の質の向上を図っている。	<input checked="" type="checkbox"/> 教育及び保育の質について自己評価を定期的に行う体制を整備し実施している。 <input checked="" type="checkbox"/> 教育及び保育の質向上計画を立て実行し、PDCAサイクルを継続して実施し恒常的な取り組みとして機能している。 <input checked="" type="checkbox"/> 自己評価や第三者評価の結果を公表している。
(評価コメント) 年間指導計画は前期と後期で振り返りをおこない、月間指導計画、週案もそれぞれに反省・評価を行って次計画に活かしている。今年度から子ども達の活動を視覚的に記録するドキュメンテーションをおこない、日々の子どもの様子を丁寧に見ていくことで、一人ひとりの子どもへの理解を深め保育環境のより良い見直しへとつながるよう取り組んでいる。園全体の自己評価としては、6月に「園の課題」について話し合い、10月に「具体的な取り組み」の中間報告、1月に「取り組んだ結果」をまとめ、次年度に引き継ぐことがあれば引き続き継続するようにしている。話し合われた内容は、担当係によって記録されている。今回実施した第三者評価結果は公表する予定となっている。		
15	提供する教育及び保育の標準の実施方法のマニュアル等を作成し、また日常の改善を踏まえてマニュアルの見直しを行っている。	<input checked="" type="checkbox"/> 業務の基本や手順が明確になっている。 <input checked="" type="checkbox"/> 分からないときや新人育成など必要に応じてマニュアルを活用している。 <input checked="" type="checkbox"/> マニュアル見直しを定期的に行っている。 <input checked="" type="checkbox"/> マニュアル作成は職員の参画のもとに行われている。
(評価コメント) 「大切にしたいこと」「保育者の姿勢」「多様な保育への対応」など、公立保育園共通の保育ガイドラインが整備され、1年目の職員には公立保育園の教育プログラムや発達のめやすなどを読んでもらうことで、新人の資質向上につなげている。防災マニュアル、アレルギー関係、事故防止関係などのマニュアル類も整備され、プール指導救護法や嘔吐処理、心肺蘇生などの研修もおこなって一定水準を保てるように取り組んでいる。マニュアルの見直しは、園長・主任・看護師・栄養士それぞれの職種が定期的に見直すようにしている。ガイドラインやマニュアル類は決められた場所に保管され、分からないときはいつでも取り出して活用できるようにしている。		
16	保育所等利用に関する問合せや見学に対応している。	<input checked="" type="checkbox"/> 問合せ及び見学に対応できることについて、パンフレット、ホームページ等に明記している。 <input checked="" type="checkbox"/> 問合せ又は見学に対応し、利用者のニーズに応じた説明をしている。
(評価コメント) 保育園の見学は電話で申し込みを受けている。見学の時間帯は、午前は10時30分から、午後は14時30分からとし、見学を希望される方の意向を聞いて日程を調整している。見学者用のパンフレットも準備され、保育理念や保育目標、園の特徴や園の方針などが書かれたパンフレットに沿って説明している。子どもの活動する様子や施設内を案内し、相談や質問にも丁寧に対応するようにしている。見学後に疑問点や質問があった場合は電話でも対応できることを伝えている。		
17	教育及び保育の開始に当たり、教育及び保育方針や内容等を利用者に説明し、同意を得ている。	<input checked="" type="checkbox"/> 教育及び保育の開始にあたり、理念に基づく教育及び保育方針や内容及び基本的ルール等を説明している。 <input checked="" type="checkbox"/> 説明や資料は保護者に分かりやすいように工夫している。 <input checked="" type="checkbox"/> 説明内容について、保護者の同意を得るようにしている。 <input checked="" type="checkbox"/> 教育及び保育の内容に関する説明の際に、保護者の意向を確認し、記録化している。
(評価コメント) 入園する際には、入園説明会をおこない「保育園のしおり」を配布し、しおりに沿って説明している。保育目標、保育時間、園のきまり、保健関係、食事関係などが記載され、園長・看護師・栄養士からそれぞれ説明している。準備物などは実物大のものをみせながら分かりやすく説明している。入園前面談もおこない、入園前の状況や成育歴などを詳細に聞き取っている。保護者の意向なども聞き取り、記録するようにしている。「保育園のしおり」は保育ICTシステムの中にも掲載し、いつでも確認ができるように配慮している。説明内容については、同意書にサインをもらうようにしている。		
18	保育所等の理念や教育及び保育方針・目標に基づき全体的な計画が適切に編成されている。	<input checked="" type="checkbox"/> 全体的な計画は児童憲章、児童の権利に関する条約、児童福祉法、保育所保育指針などの趣旨をとらえて作成している。 <input checked="" type="checkbox"/> 全体的な計画は、教育及び保育の理念、方針、目標及び発達過程などが組み込まれて作成されている。 <input checked="" type="checkbox"/> こどもの背景にある家庭や地域の実態を考慮して作成されている。 <input checked="" type="checkbox"/> 施設長の責任の下に全職員が参画し、共通理解に立って、協力的体制の下に作成されている。
(評価コメント) 全体的な計画には、市目標である「健康でよく遊べる子ども」「思いやりのある子ども」や園目標の「ゆたかな環境の中で、自ら意欲的に遊ぶ子ども」、その他、保育理念、保育方針、発達過程などが組み込まれ作成されている。また、「育みたい資質・能力」「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」などの、幼児教育をおこなう施設として共有すべき事項や健康及び安全、子育て支援、職員の資質向上なども盛り込まれている。全体的な計画は、平成30年度の保育所保育指針改定に伴い、職員参画のもとに作成をおこない、その後は毎年年度初めに職員で確認、変更点は差し替えをおこなっている。		

19	全体的な計画に基づき具体的な指導計画が適切に設定され、実践を振り返り改善に努めている。	<input checked="" type="checkbox"/> 全体的な計画に基づき、こどもの生活や発達を見通した長期的な指導計画と短期的な指導計画が作成されている。 <input checked="" type="checkbox"/> 乳児、1歳以上3歳未満児、障害児等特別配慮が必要なこどもに対しては、個別計画が作成されている。 <input checked="" type="checkbox"/> 発達過程を見通して、生活の連続性、季節の変化を考慮し、こどもの実態に即した具体的なねらいや内容が位置づけられている。 <input checked="" type="checkbox"/> ねらいを達成するための適切な環境が構成されている。 <input checked="" type="checkbox"/> 指導計画の実践を振り返り改善に努めている。
<p>(評価コメント)</p> <p>理念や目標などが組み込まれた全体的な計画に基づき、各年齢ごとに年間指導計画、月間指導計画、週案へと落とし込んでいます。3歳未満児については個別指導計画、特別配慮が必要な子どもに対しては個別支援計画を作成している。年間指導計画は前期と後期で振り返り、月間指導計画では月ごとに反省をおこない次計画へと活かしている。日誌は週案を兼ねた様式になっており、日々のねらいと振り返り、1週間の振り返りと次週への方向性が示されている。日誌の中では子どもが遊ぶ姿を詳細に捉え、保育者の援助の仕方や配慮など次へつなげるように記録している。</p>		
20	こどもが主体的に活動できる環境が整備されている。	<input checked="" type="checkbox"/> こども一人ひとりを受容し、こどもの状態に応じた保育の内容や方法に配慮している。 <input checked="" type="checkbox"/> こどもの発達段階に即した玩具や遊具などが用意されている。 <input checked="" type="checkbox"/> こどもが自由に素材や用具などを自分で取り出して遊べるように工夫されている。 <input checked="" type="checkbox"/> 好きな遊びができる場所が用意されている。 <input checked="" type="checkbox"/> こどもが自由に遊べる時間が確保されている。 <input checked="" type="checkbox"/> 教育及び保育者は、こどもが主体性を発揮できるような働きかけをしている。
<p>(評価コメント)</p> <p>園庭には築山があり、斜面にはタイヤを並べ子ども達が上ったり下りたりして遊んでいる。遊具置き場にはバスマットやヨガマット、ござを準備し、自由に持ち出し長くつないだり、ござを敷いてままごとをしたりと遊びを広げている。室内は子どもの発達段階に応じて、様々な玩具や教材が準備され、好きな遊びを見つけて遊べるような環境を整えている。3歳未満児クラスでは指先を使う手づくり玩具や、おままごとの材料なども遊びが広がりやすいように豊富に揃えている。キルトで作った壁掛けは、小さな窓をめくると昆虫の写真が出てきたり、床にも写真や足形・手形、人工芝や発泡スチロールを貼り、実際に触って感触を楽しんだり、子ども達の「遊びたい」気持ちを引き出している。3歳以上児クラスは遊び込めるようなコーナーを設置するほか、自由に絵が描けるように紙なども準備している。子どもの遊びによっては図鑑や絵本なども手に取りやすい場所に置くように配慮している。保育の中で一人ひとりの思いや発想を丁寧に受け止め、子どものやりたい遊びが実現できるように援助している。3歳児クラスでは、子どもの発想を活かし大きな段ボール箱で冷蔵庫が作られていた。ドキュメンテーションを作成し、子どもの姿や発達を読み取り、子どもの興味を引き出す環境を整えるようにしている。</p>		
21	乳児保育(0歳児)において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	<input checked="" type="checkbox"/> こどもの状態に応じて食事や睡眠を十分に取ることのできる機会や環境が確保されている。 <input checked="" type="checkbox"/> 十分に体を動かすことのできる機会や空間が確保され、こどもの個人差や興味、関心に沿った保育室の環境を整えている。 <input checked="" type="checkbox"/> 語りかけや歌いかけ、体の動きや表情、発声や喃語等への応答など愛情豊かで受容的・応答的な関わりをしている。 <input checked="" type="checkbox"/> 送迎時や連絡帳等を通じて保護者と密接な連携を図り、保護者からの相談に応じるなど保護者への支援に務めている。 <input checked="" type="checkbox"/> こども一人ひとりの生育歴や発達過程等が担当職員間で共有されている。
<p>(評価コメント)</p> <p>発達が著しく個人差が大きい乳児クラスでは、育児担当制の保育を取り入れており、特定の保育者とかかわることで早期に愛着関係を育み安定した生活が送れるようにしている。やさしく語りかけたり子どもの欲求に応えるなど、ゆったりとしたかかわりの中で「わらべうた」なども取り入れている。つまむ、掴む、落とすなど、指先を使う手作り玩具を準備したり、一人遊びを確保できる段ボールの仕切りなどを準備して、じっくり遊び込めるように配慮している。毎月計画される個別の指導計画には、前月の子どもの姿を丁寧に読み取り、子どもの状態に合った内容や援助の仕方、食事会議の内容を盛り込んでおり、クラス担任が情報を共有しながら保育にあたっている。保護者との連携も密にし、家庭での様子を確認しながら午前寝の必要な子どもには午前寝を取り入れるなど、一人ひとりの子どもの状態を把握して対応している。</p>		
22	1・2歳児の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	<input checked="" type="checkbox"/> 基本的な生活習慣等について、こどもが自分でしようとする気持ちを尊重している。 <input checked="" type="checkbox"/> 友だちの気持ちや友だちとの関わり方を丁寧に伝えている。(こどもの気持ちを代弁して、お互いの気持ちに気づけるように関わり方を丁寧に伝えている。) <input checked="" type="checkbox"/> 周知の環境や人・ものへの探索行動を存分にできるよう、安全に配慮しながら環境を整備し、様々な遊びを取り入れている。 <input checked="" type="checkbox"/> 送迎時や連絡帳等を通じて保護者と密接な連携を図り、保護者からの相談に応じるなど保護者への支援に務めている。 <input checked="" type="checkbox"/> こども一人ひとりの生育歴や発達過程等が担当職員間で共有されている。
<p>(評価コメント)</p> <p>1・2歳児は混合クラスになっており、お互いにかかわり合いながら生活している。一人ひとりの生活リズムや生活状況を職員間で共有しながら安心して遊べる環境の中で、満足するまで遊び込めるようにしている。育児担当制の保育をおこなっているので、外遊びをしたい時には小人数のグループで行くことができ、子どもの状況に合わせた保育ができています。衣服の着脱は「一人でできた」という満足感を味わえるようにし、できないところはさりげなく手を添えるように援助している。コート掛けの近くに牛乳パックで作った一人用椅子が並べられてあり、外へ行く時は準備ができた子どもから座って待つことができていた。日々の子どもの様子は、連絡帳や送迎時に口頭で伝え、保護者とのコミュニケーションづくりに努めている。</p>		

23	3歳以上児の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	<input checked="" type="checkbox"/> 基本的な生活習慣等について、自分でやり遂げたという満足感を味わわせるよう配慮している。 <input checked="" type="checkbox"/> 他の子どもと多様な関わりがもてるように援助している。 <input checked="" type="checkbox"/> 子どもの興味や関心を引き出すことができるよう、子どもの能動性を引き出す自由な空間や物を配置している。 <input checked="" type="checkbox"/> 送迎時や連絡帳等を通じて保護者と密接な連携を図り、保護者からの相談に応じるなど保護者への支援に務めている。 <input checked="" type="checkbox"/> 子ども一人ひとりの生育歴や発達過程等が担当職員間で共有されている。
<p>(評価コメント)</p> <p>3歳以上児のクラスでは冬野菜を育てており、壁面に写真を貼って興味・関心を育てている。紙類も自由に使えるようにしており、折り紙などの作品は、ウォールポケットを利用して大切にしている。5歳児クラスの「花火大会をやりたい」という子どもの思いから生まれた活動では、「ひゅー」と花火が上がる絵、裏には花火が広がった絵を描き、太鼓を取り入れ「ドン！」で裏返しをしてきれいな花火が上がったところを観客に見せるなど、子どもならではの発想が見られ、太鼓を打つ人や絵を裏返す人などの役割分担も生まれている。保育者が子どもの遊びを見守り、思いを受け止め、共感したり励ましたりしながら援助をしていくことで子どもの豊かな発想へとつながっている。日々の活動内容は、連絡アプリを使い写真とコメントで伝えるほか、口頭でも子どもの様子を伝えることで、保護者と子どもの成長を共有している。</p>		
24	身近な自然や地域社会と関わられるような取組みがなされている。	<input checked="" type="checkbox"/> 子どもが自然物や動植物に接する機会を作り、教育及び保育に活用している。 <input checked="" type="checkbox"/> 散歩や行事などで地域の人達に接する機会をつくっている。 <input checked="" type="checkbox"/> 地域の公共機関を利用するなど、社会体験が得られる機会をつくっている。 <input checked="" type="checkbox"/> 季節や時期、子どもの興味を考慮して、生活に変化や潤いを与える工夫を日常教育及び保育の中に取り入れている。
<p>(評価コメント)</p> <p>園庭には築山や芝生の斜面、季節の野菜を栽培する畑など、子ども達が自然に触れる環境を整備し、5歳児が栽培したサツマイモを使ってスイートポテトづくりを楽しんだりしている。ダンゴムシやバッタなど、日々の生活の中で目にする機会も多く、身近な生き物への興味・関心を育てている。園の周辺にはドングリやマツボックリのある公園、桜の花が咲く公園など、自然豊かな公園があり、3歳以上児クラスが散歩に出かけ季節の変化を楽しんだり、収穫物を保育に取り入れたりしている。散歩コースには駅や商店街、病院、薬局、銀行、交番、公民館、図書館などがあり、商店街では、スーパー、八百屋、ラーメン店など様々な仕事があることを知るきっかけにもなっている。</p>		
25	遊びや生活を通して人間関係が育つよう配慮している。	<input checked="" type="checkbox"/> 子ども同士の関係をより良くするような適切な言葉かけをしている。 <input checked="" type="checkbox"/> けんかや気持ちのぶつかり合いが発生した場合、危険のないように注意しながら、子ども達同士で解決するように援助している。 <input checked="" type="checkbox"/> 順番を守るなど、社会的ルールを身につけていくように配慮している。 <input checked="" type="checkbox"/> 子どもが役割を果たせるような取組みが行われている。 <input checked="" type="checkbox"/> 子どもが発性を発揮し、友だちと協同して活動できるよう援助している。 <input checked="" type="checkbox"/> 異年齢の子どもとの交流が行われている。
<p>(評価コメント)</p> <p>日常の保育の中で自然にごっこ遊びが広がるような環境を整え、友達と考えを共有しながらじっくり遊び込める空間をつくり出している。遊びの中で生じるけんかや気持ちのぶつかり合いは、双方の思いを受け止め、楽しく遊ぶためにはどうしたらよいか、子ども達が自分たちで気づき考える過程を大切に援助している。保育者によって対応が変わらないように保育者間の共有を図っている。バナナ鬼、引っ越し鬼、だるまさんがころんだ、リレー、ドッジボールなど、ルールのある遊びも取り入れ、遊びの中でルールを守る大切さを経験している。3歳以上児クラスでは、異年齢で交流する機会を定期的に設けており、日々の関わりを通して、上のクラスへのあこがれや下のクラスへの思いやりが自然に育っている。年長組のお祭りごっこに3・4歳児を招待し、活動が盛り上がり楽しい活動となったなどの経験をしている。</p>		
26	特別な配慮を必要とする子どもの教育及び保育が適切に行われている。	<input checked="" type="checkbox"/> 子ども同士の関わりに対して配慮している。 <input checked="" type="checkbox"/> 個別の指導計画に基づき、きめ細かい配慮と対応を行い記録している。 <input checked="" type="checkbox"/> 個別の指導計画に基づき、保育所等全体で、定期的に話し合う機会を設けている。 <input checked="" type="checkbox"/> 障害児教育及び保育に携わる者は、障害児教育及び保育に関する研修を受けている。 <input checked="" type="checkbox"/> 必要に応じて、医療機関や専門機関から相談や助言を受けている。 <input checked="" type="checkbox"/> 保護者に適切な情報を伝えるための取組みを行っている。
<p>(評価コメント)</p> <p>年度初めに、個別支援計画を保護者とともに確認できるよう面談をおこなっている。専門機関から助言を受けた際には、内容を職員と共有し、必要に応じて保護者と面談をおこなうようにしている。保育者は配慮を必要とする子どもを含め、全園児の様子を気にかけて、一人ひとりの子どもに応じた配慮や対応を心掛け、会議などで子どもの成長や姿を共有するよう努めている。該当する保育者は千葉県総合教育センターの研修の中で、症例に即した研修に参加し、会議にて研修報告をおこない共有している。</p>		
27	保育時間の長い子どもに対して配慮がなされている。	<input checked="" type="checkbox"/> 担当の職員が変わる場合には、引き継ぎが適切に行われ、必要に応じて保護者に説明されている。 <input checked="" type="checkbox"/> 担当職員の研修が行われている。 <input checked="" type="checkbox"/> 子どもが安心・安定して過ごせる適切な環境が整備されている。 <input checked="" type="checkbox"/> 年齢の異なる子どもが一緒に過ごすことに配慮している。
<p>(評価コメント)</p> <p>朝夕の合同保育時は、担当がいけないこともあるため、引継ぎは口頭でおこなうと共に伝達漏れがないようにクラスごとに引継ぎノートを利用している。会議などで子どもの様子を伝え合い、個別に配慮が必要なことは共有できるようにしている。合同保育では、状況に応じて玩具の種類や量を調節し、年齢の異なる子どもが落ち着いて過ごせるように配慮している。</p>		

28	家庭との連携が十分図られている。	<input checked="" type="checkbox"/>	一人ひとりの保護者と日常的な情報交換に加え、こどもの発達や育児などについて、個別面談、教育及び保育参観、参加、懇談会などの機会を定期的に設け、記録されている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	保護者からの相談に応じる体制を整え、相談内容が必要に応じて記録され上司に報告されている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	外国籍家庭や外国にルーツをもつ家庭、ひとり親家庭、貧困家庭等、特別な配慮を必要とする家庭について、保護者の意向や思いを理解できるよう努めるとともに、必要に応じて個別の支援を実施している。
(評価コメント)			
クラス担任は日々の送迎時の対話や連絡アプリを通して保護者と子どもの姿を共有し、成長や悩みを話せる関係を築くよう努めている。年に1回保育参観を実施し、年長児のみ保育参加としている。今回の第三者評価のアンケートにおいて「保育参加がなくなってしまい保育参観になってしまったのが残念」との声が聞かれた。保育参観の目的を改めて検討し、保護者への説明と理解につなげることが望ましい。保護者から相談があった時には、時間や場所を整え面談をおこない、必要に応じて園長や看護師も同席するようにしている。保護者会は年3回実施し、10月の保護者会では運動会で授与する我が子のメダルを作りながら保護者間の交流を図ることができ、有意義な保護者会となっている。			
29	地域社会との連携が十分図られている。	<input checked="" type="checkbox"/>	小・中学校などの生徒の体験学習や実習を受け入れたり、高齢者との交流を行ったりするなど、地域社会との交流を図っている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	就学に向けて、保育所等のこどもと小学校の児童や職員同士の交流、情報共有や相互理解など小学校との積極的な連携を図っている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	こどもの育ちを支えるため、保護者の了解のもと、認定こども園園児指導要録及び保育所児童保育要録などを保育所等から小学校へ送付している。
(評価コメント)			
近隣の中学生の職業体験については、毎年受け入れをおこなっている。小学校との連携では、船橋市総合教育センターの幼保小連携の研修に参加し、近隣の小学校・幼稚園・保育園と情報共有や相互理解の場を設けている。また、就学する園児の多い近隣小学校の交流会に招待してもらい、年長児が入学前に小学校の様子を知る良い機会となっている。職員同士の交流については、現在小学校の授業参観をさせてもらうことを検討しているところである。就学にあたっては保護者の了解のもと、保育所児童保育要録を小学校へ送付すると共に、電話での引継ぎもおこなっている。			
30	家庭での虐待等権利侵害の疑いのあるこどもの早期発見・早期対応に努めている。	<input checked="" type="checkbox"/>	こどもの心身の状態を観察し、家庭での不適切な養育の兆候や、虐待の把握に努めている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	家庭での不適切な養育の兆候や、虐待が疑われる場合には、所長に報告し継続観察を行い記録している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	虐待被害にあったこどもがいる場合には、関係機関と連携しながら対応する体制を整えている。
(評価コメント)			
日々子どもと接する中で気になることがある時は園長に報告し、状況によってはクラスだけでなく全職員に情報を共有し対応するようにしている。必要に応じて、市の家庭児童相談室や児童相談所とも連携し報告する仕組みができています。保育者はリモートで虐待研修を受け、早期発見・早期対応に努めている。			
31	こどもの健康状態、発育、発達状態が適切に把握し、健康増進に努めている。	<input checked="" type="checkbox"/>	こどもの健康に関する保健計画を作成し、心身の健康状態や疾病等について把握・記録され、嘱託医等により定期的に健康診断を行っている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	保護者からの情報とともに、登所時及び教育・保育中を通じてこどもの健康状態を観察し、記録している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	職員に乳幼児突然死症候群(SIDS)に関する知識を周知し必要な取り組みを行い、保護者に対して必要な情報を提供している。
(評価コメント)			
健康診断は年2回、歯科検診は年1回実施している。健康診断は予備日を設けているが、受けられなかった家庭には個別での受診を勧めている。毎月の身体測定を実施し、保護者には健康カードと連絡アプリで結果を知らせている。看護師は巡回時に子どもと接することで健康状態を確認し、職員間で情報を共有している。保護者からの情報や健康状態について児童表や看護日誌に記入している。SIDSについては、新年度会議に資料を配布して周知し、睡眠時0歳児は5分毎の呼吸チェックを実施している。看護師は毎日の視診時に体勢を確認したり職員に注意喚起をしている。今後はSIDSの状況を身近に感じながら、一人ひとりの保育者により深く理解してもらえたい。			
32	感染症、疾病等の対応は適切に行われている。	<input checked="" type="checkbox"/>	感染症発生時における業務継続計画(BCP)が策定され、定期的な見直しを実施するとともに職員に周知されている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	教育及び保育中に体調不良や傷害が発生した場合には、そのこどもの状態等に応じて、保護者に連絡するとともに、適宜、嘱託医やこどものかかりつけ医等と相談し、適切な処置を行っている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	感染症やその他の疾病の発生予防に努め、その発生や疑いがある場合には、必要に応じて嘱託医、市町村、保健所等に連絡し、その指示に従うとともに、保護者や全職員に連絡し、協力を求めている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	こどもの感染・疾病等の事態に備え、医務室等の環境を整え、救急用の薬品、材料等を常備し、適切な管理の下に全職員が対応できるようにしている。
(評価コメント)			
感染症の流行が始まった際には嘱託医へ報告し助言をいただくと共に地域の感染状況を把握し、保護者や職員に周知し感染対策を講じている。感染症マニュアルに基づき、嘔吐・下痢時のシミュレーションをおこない、全職員が対応できるようにすると共に、各保育室に嘔吐処理セットを常備し、速やかに対応できるようにしている。第三者評価の訪問日は1クラスに感染症の症状が見られたため、紙ペーパーの使用や消毒液を使用し、合同を避けクラスでの午睡など、対策がとられていた。			

33	食育の推進に努めている。	<input checked="" type="checkbox"/>	食育の計画を作成し、教育及び保育の計画に位置付けるとともに、その評価及び改善に努めている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	こどもが自らの感覚や体験を通して、自然の恵みとしての食材や調理する人への感謝の気持ちが育つように、こどもと調理員との関わりなどに配慮している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	体調不良、食物アレルギー、障害のあるこどもなど、一人ひとりのこどもの心身の状態等に応じ、嘱託医、かかりつけ医等の指示や協力の下に適切に対応している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	食物アレルギー児に対して誤食防止や障害のあるこどもの誤飲防止など細かい注意が行われている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	残さず食べることや、偏食を直そうと強制したりしないで、落ち着いて食事を楽しめるように工夫している。
(評価コメント)			
<p>保育者はクラスごとに年間の計画書を作成し、栄養士は保育者や子どもが「やりたい」と計画した内容を実現できるよう調整をおこない、トウモロコシの皮むき・かぼちゃ蒸しパン作り等のクッキング活動や、ドレッシング作り等、保育室で調理する「出前調理」を実施している。各計画は実施後に振り返りをおこない、次年度へつなげられるよう改善に努めている。出前調理や食育活動には調理員も参加し、保育者と連携しながら、子どもたちが楽しく食事ができるよう、調理や提供の工夫をしている。一方で子どもたちの食事のマナーや姿勢への意識が十分ではない点を課題としており、現在「楽しく食べながら自然に身に付く」ことを目指し、言葉掛けや栄養指導を進めている。アレルギー児対応食は最優先で調理し、完成後にラップをかけ、配膳には他児と色の異なるトレイと名札を使用、給食室内・受け渡し時・保育室内・子どもへの提供時に名前と献立を声に出して確認した上で提供し、誤食防止に努めている。1歳半までの食事に関しては園全体で情報共有することが重要と考え、食事会議の主要議題として継続的に扱っている。</p>			
34	環境及び衛生管理は適切に行われている。	<input checked="" type="checkbox"/>	施設の温度、湿度、換気、採光、音などの環境を常に適切な状態に保持するとともに、施設内外の設備及び用具等の衛生管理に努めている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	こども及び職員が、手洗い等により清潔を保つようにするとともに、施設内外の保健的環境の維持及び向上に努めている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	室内外の整理、整頓がされ、こどもが快適に過ごせる環境が整っている。
(評価コメント)			
<p>環境係や安全係が中心となり環境整備や危険箇所の点検をおこなっている。6月のプール開始時期から9月末の期間、温度・湿度・暑さ指数を測定し園庭活動時の参考にしていく。登園時、入室前の手洗いを子ども・保護者・職員に周知・徹底している。保育室の環境、衛生面の管理については毎日巡視・確認している。保育室に温湿度計・エアコン・扇風機・空気清浄機・加湿器・換気扇を備え、1時間に1回の換気と1日3回温度・湿度を記録し、適切な状態保持に努めている。保育室内は整理整頓され、毎日の掃除機・床拭き・玩具消毒と定期的なエアコン・扇風機・空気清浄機の清掃をチェック表で管理している。</p>			
35	事故発生時及び事故防止対策は適切に行われている。	<input checked="" type="checkbox"/>	事故発生時の対応マニュアルを整備し職員に徹底している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	事故発生原因を分析し事故防止対策を実施している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	設備や遊具等保育所等内外の安全点検に努め、安全対策のために職員の共通理解や体制づくりを図っている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	危険箇所の点検を実施するとともに、外部からの不審者等の対策が図られている。
(評価コメント)			
<p>事故発生時対応・不審者対応などのマニュアルを整備し、年度初めの職員会議で周知している。園長・主任・看護師を中心に環境係や安全係と協力し合い、安全点検や事故防止対策を実施している。受診した怪我については事故発生報告書を作成、担任・園長・主任・看護師で原因を分析し具体的な対策を検討、再発防止に努めている。受診しない怪我やヒヤリ・ハットについても報告書に記録し、全職員に共有することで改善策を見出し、またそれを実践することで事故防止に役立っている。門扉のセキュリティについては保護者から心配の声が寄せられているため、早急な対策が望まれる。</p>			
36	地震・津波・火災等非常災害発生時の対策は適切に行われている。	<input checked="" type="checkbox"/>	災害発生時における業務継続計画(BCP)が策定され、定期的な見直しを実施するとともに職員に周知されている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	地震・津波・火災等非常災害発生に備えて、役割分担や対応等マニュアルを整備し周知している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	定期的に避難訓練を実施している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	避難訓練は消防署や近隣住民、家庭との連携のもとに実施している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	立地条件から災害の影響を把握し、建物・設備類の必要な対策を講じている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	利用者及び職員の安否確認方法が決められ、全職員に周知されている。
(評価コメント)			
<p>公立保育園全体として保育園における地震防災マニュアル、高根保育園防災マニュアルを整備し、年間避難訓練計画のもと、毎月地震から火災発生、散歩先での不審者対応など、様々な状況を想定した訓練の実施と共に、消防署とも連携し総合避難訓練や自衛消防訓練もおこなっている。災害時における職員の行動体験計画では、備蓄品の確認・無線連絡訓練・171伝言ダイヤルの体験など、定期的におこなっている。また、職員が園内にある消火器・ランタン・懐中電灯・水や非常食の場所を確認するための「安全ツアー」を実施し、楽しみながらいざという時のために備えている。保護者に対してはテストメールや171伝言ダイヤル体験の案内を通して災害時の安否確認の方法について周知している。避難経路と第1～3避難場所については廊下に掲示している。非常災害が発生した場合の保育園の臨時休園については、市が発令する「警戒レベル」により決定することになっており、ホームページや市の情報メールで知らせることもポスターの掲示で周知している。</p>			
37	地域ニーズを把握し、地域における子育て支援をしている。	<input checked="" type="checkbox"/>	地域の子育てニーズを把握している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	子育て家庭への保育所等機能を開放(施設及び設備の開放、体験保育等)し交流の場を提供し促進している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	子育て等に関する相談・助言や援助を実施している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	地域の子育て支援に関する情報を提供している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	こどもと地域の人々との交流を広げるための働きかけを行っている。
(評価コメント)			
<p>毎週水曜日の午前中は園庭開放をおこなっている。「園庭遊び」「手作り玩具で遊ぼう」「絵本わらべ歌の楽しさを知ろう」の3回の遊びの会と看護師による「救急法を体験しよう」・栄養士による「保育園の給食を知ろう」の計2回の育児講座に合わせて身体測定や育児相談も実施している。近隣に子育て支援センターがあることで、参加者が少ないことから、園見学の方にご案内したり、見学日を遊びの会と同日にしてご利用いただいている。見学者同士で交流を持つことができている。</p>			